



通巻539号

わかやま

和歌山教区報

行
 和歌山教務支庁
 〒640-8137
 和歌山市吹上
 3丁目2番46号
 Tel 073-436-4445
 Fax 073-436-4443
 E-Mail
 ・wakayamakyoku
 @piano.ocn.ne.jp
 ・w.kouhoubu
 @gmail.com

ひのきしんを通して成人へと導く

少年会和歌山教区団

本年天理教少年会は、創立60周年を迎えます。子供たちに信仰の喜びを伝え、教祖の教えが身につくよう導いて、将来立派なよふぼくに育つための基礎を作ることを目的として、二代真柱様がお創りくださいました。その実現に当たっては、普段から子供と接するとき、その自覚を基に接しなければならぬ、と真柱様は仰せ下さいました。

その真柱様の思いを受けての活動方針であります。

『創立の思いを心に治め、先を楽しみに、

道の子を育てる取り組みを前進させよう』

であります。教区団としましては、常時では、主に支部活動を通してひのきしんを中心とした少年会員への丹精をお願いしております。

また「こどもおちばがえり」では、教区といたしまして今年も岡山教区と一緒に「チャレンジパーク」をつとめさせて頂きます。各支部には少年ひのきしん隊、教区学担では学生ひのきしん隊をつのり、前半期間、一生懸命ひのきしんをつとめて頂くことになっております。

「こどもおちばがえり」は、人間のふるさとをばお待ち下さる親神様、教祖と世界から帰ってくる子供たち

この心のふれあいの場であると思えます。子供たちが一日おちばで楽しく過ごし、親の息をおかけいただき親神様から下さる色んなおみやげを持って帰っていきます。

毎年少年ひのきしん隊に参加する子供たちは、炎天下の中をゲームなどの受け入れひのきしんに真実込めてつとめてくれています。また、そのお兄ちゃん、お姉ちゃん立場になる学生ひのきしん隊も負けず劣らず、勇んでつとめてくれています。暑くて、しんどくって心が折れそうになる少ひ隊員は、帰ってくる子供たちの「ありがとう、楽しかったよ」という一言で元気を貰い、更には学ひ隊のお兄ちゃん・お姉ちゃんの元気な姿を見て、勇気を貰いひのきしんに精を出しています。そして、ひのきしん期間が終わる頃、それぞれ身を尽くした分、心を尽くした分「人のために尽くす喜び」を学び、立派なようぼくへと近づいてくれています。

一人でもこういう喜びを味わっていただきたく、只今少年ひのきしん隊員、学生ひのきしん隊員を募集しております。育成会員の先生方には、どうぞ、子供たち一人ひとりにそのも思いをお伝えいただき、一人でも多く入隊下さいますよう、お力添えをお願い致します。



■青年会

窪田 倫久

4月に教区青年会の皆さんと埼玉県所沢市にある本芝房分教会に勉強に行かせていただきました。18か所の部内教会があり、来年には新設教会ができるという勢いのある教会であります。谷澤会長さんから色々とお話を聞かせて頂き印象に残ったのが、教会の理念やスローガンを持つことが大切。本芝房では、初参拝、初席、修養科。そして『丹精』。さらに仏教で言うとにをいかけは托鉢。托鉢をやらぬ偉い坊さんになつた人はいない。

「おたすけ人は成つても一つの理、成らなくても一つの理を積ませていたのです」と初代は諭された。どっちが大事かというところ「ならん理」が大事です。どうしても「ならん理」を求めてしまいがちである。夕勤の時には毎日「今日もならん理を積ませていただきました。ありがとございしました。」と言つたら、もう本当にすつきりする。だから布教は一生、一生は布教、なる理ではなく、ならん理を積ませて頂く。この道の教えは『ための教え』なのだから、自信と誇りを持ち

なさい。自分に自信はなくてもいいから、教えに自信と誇りを持てば、だんだん自分にも自信を持てるようになってくる。そして人様にこの教えを伝えよう。

また信者宅を訪ねることは大切だが、必ず「次は教会に来てください」と促すこと。行きつぱなしではなく、教会へ足を運ばせることで本当のたすかりにつながる。なぜなら教会はちばの出張り場所だから。これが丹精の重要なポイント。教会はちばの出張り場所だから教会に一人でも多くお連れしようということでありました。自分自身お預かりしている教会が、ちばの出張場所ということはおわかつていても、それをおろそかにして、ついついおちばと近いので「教会よりもおちば」と思っていました。しかしまず教会にお連れして、神様のお話や相談事などを聞かせてもらうことなどが大切なことだと改めて気づかせていただきました。

お話を聞かせて頂く中で気持ちが変わるのを感じると同時に「夢とロマン」があるなと感じました。何故なら同じ信仰者であり、よぶよぶであり、また教祖のひなごたを歩ませて頂いているお互いであるからです。どうせやるならこんな教会を目指したいです。その為には教会の理念やスローガンを持ち、毎日のコツコツをいが

けを欠かさない。更に教会へ人をお連れし、この教えに自信を持って伝えていきたいと再認識させてもらいました！

教祖140年祭も終わりに通常に戻る中、次の塚に向かう歩みの中で、今回行かせていただけたことは、非常に教会長として目指すべきところが見えてきて、今は勇み心と楽しみとワクワクがとまりません。

ありがとうございました。

次号へ続く

★わだちの会

★6月の わだちの会

- 第261回 9日 福島、梶取周辺
- 第262回 19日 和歌山市平井、大谷周辺。

段々と暑くなる中、個別訪問にペアで回りました。茶話会では、笑顔が心かけた、相手が変わった姿を見て神様の言葉が身に染みる様になつた等の話があつた。

☆次回予定☆

- ◇7/9 和歌山駅 路傍講演と神名ながし。
- ◇7/19 和歌山市 西ノ庄地区周辺

戸別訪問。

教務支庁 九時集合。チラシ持参。宜しくお願ひ申し上げます。